

令和8年度 飯田下伊那栄養教諭・学校栄養職員



授業づくり研修会

STORY | 南信教育事務所飯田事務所独自事業 先生方と対話を通して学びます



6月12日（金）飯田合同庁舎において「授業づくり研修会」を開催しました。

本研修会は、栄養教諭・学校栄養職員の皆さんから寄せられた「食育の授業づくりについて学びたい」という要望に応え、南信教育事務所飯田事務所が平成19年度から主催しています。本年度で19年目を迎え、今年度は30名の先生方にご参加いただきました。

研修会の冒頭、自己紹介を兼ねたアイスブレイクを行い、参加者同士の親睦を深めました。続いて情報提供として、飯田事務所長から「長野県が目指す教育の方向」「授業の基礎・基本」「食に関する指導の充実に向けて」の3点について説明があり、改めて確認を行いました。

PRESENT | ICTを活用した食育活動

今年度は、下條村学校給食センターの取組について発表していただきました。題材は、小学校3年生社会科「農家の仕事」の単元です。担任と栄養教諭が連携しながら授業を進め、本時では地元の農家グループ「レディースファーム」の皆さんとZoomを活用した交流活動を行いました。また、教育委員会にもご協力いただき、農家の皆さんとの調整や仲介をしていただきました。事前に児童からの質問をお伝えしておくことで、当日はそれぞれの質問に丁寧に答えていただき、円滑なやり取りが実現しました。

この授業をきっかけに、児童は農業への理解を深めることができました。また、給食時の食材紹介にもこれまで以上に興味を示す様子が見られました。農家の皆さんからも、児童の声を直接聞くことができ励みになったと好評でした。



DISCUSSION① | よりよい授業を考える

発表事例をもとに、取組の成果や今後の実践に生かせる点についてグループで意見交換を行いました。

「Zoomを活用することで、普段は見ることのできない場所や様子に触れることができる」

「地域の生産者と子供たちをつなぐ有効な手段になる」などの意見が出されました。また、「ICT活用に不安はあるが、まずは挑戦してみたい」といった声も聞かれ、今後の授業づくりへの意欲が高まる意見交換となりました。



DISCUSSION② | これからの授業づくりに向けて

事前アンケートで挙げていただいた「授業づくりに向けて困っていること」について語り合い、明日からの実践につながるアイデアや工夫を共有しました。特に話題の中心となったのは、

- ・担任や各教科担当との連携
- ・継続的な食育の授業の定着
- ・家庭科以外の教科での授業づくり の3点でした。

語り合うことを通して、栄養教諭だけで取り組むのではなく、学校職員や地域の関係者、教育委員会など、多くの方々と連携しながら食育を推進していくことの重要性を改めて確認することができました。今後も、子供たちがさまざまな経験を通して食に関する知識を身に付け、自ら正しい食を選択する力を育み、健全な食生活を実践できるよう、引き続き力を合わせて取り組んでいきたいと思ひます。

